

科目名		キャリアデザイン 3							年度	2025	
英語科目名		Career Design 3							学期	前期	
学科・学年		I T スペシャリスト科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員		降矢理人			教員の実務経験		有	実務経験の職種		クリニカルエンジニア	
【科目の目的】 専門学校の目的は各分野の専門技能を身に付けたスペシャリストを社会に送り出すことである。専門分野の知識やスキルに長けていることはもちろんだが、社会人としての資質も身に付けておく必要がある。本講座では社会人基礎力というキーワードをもとに、求められる人材に近づけるべく、考え方や日々の習慣を内省し、就職へ向けてのアプローチとなる第2歩を踏み出すことが目的である。(2年次共通)											
【科目の概要】 キャリア教育学③ ビジネス上での求められる人物像を探索する(新・社会人基礎力をベースに) 成功している企業の経営者たちの言葉や考えをもとに、今の自分との差異を考える 日々の習慣を振り返り、行動を変えるきっかけに繋げる											
【到達目標】 本来キャリア教育は、単に就職するためのスキルを教授するだけではなく、社会人としての考え方や社会論を軸に、労働との関わりについて思考を深める学問である。自身と向かい合い将来の働き方を模索し、自分なりの生き方や働き方、さらには社会との関係性について視点を増やし、視野を広げることを目標とする。 フェーズ3では、社会的データや一般概念、有識者の言葉から、社会の考えを知る。そのうえで自分とのギャップを考える。											
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。欠席は原則認めない。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価		レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力				
到達目標		将来に向けた具体的なビジョンがあり、自ら取り組み始めている		具体的な将来のビジョンこそないが、目先の学業や生活に興味を持って取り組められる			これからの学業や生活について。これまでの考え方を振り返りながら今後のことを考え始められる				
【教科書】 無し／オリジナルの投影資料											
【参考資料】 必要に応じてその都度トピックスの話題や資料											
【成績の評価方法・評価基準】 課題レポート 60％ 出席 30％ 平常点（発言等） 10％											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											
科目名		キャリアデザイン 3							年度	2025	
英語表記		Career Design 3							学期	前期	
1		社会人基礎力 (1)	世の中の流れをみる ～プロローグ～	1	アフターコロナ	求められる人材の変化を知る				評価方法	自己評価
				2	人財になれ	自分自身“人的資産”と考えているか					
2		社会人基礎力 (2)	どのような人がもとめられていくか	1	ブレーンストーミング	今後どのような人が求められるか どんな人と働きたいか					
				2	資料配布	変わる産業構造と必要とされる人材ほか					
				3	データ	帝国データバンク、経団連データほか					
				4	データ編集	選考時に重視するポイント					
				1	経営資源	経営資源における「ヒト」に絡んだ問題を考える					

3	社会人基礎力 (3)	社会人基礎力とそ の変化を知る	2	データ	経済産業省のデータや資料の活用		
					IPA資料（ITSS～DSS、DX人材ほか）から考える		
					新・社会人基礎力を考える		
4	社会人基礎力 (4)	魅力や期待とは。 就勝プロセスを紐 解く	3	考える習慣づけ	有識者の考えを知る		
					1 モテる方程式		
					2 就勝プロセス		
5	勝ち組企業から 学ぶ現代に必要 とされる人材 (1)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	日々の仕事を期待以上にやり遂げる人材とは		
6	勝ち組企業から 学ぶ現代に必要 とされる人材 (2)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	黙っていても店長と分かる人材、多面的能力の 重要性とは		
7	勝ち組企業から 学ぶ現代に必要 とされる人材 (3)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	やった方が良かったことを素直に実行でき る人材とは		
8	勝ち組企業から 学ぶ現代に必要 とされる人材 (4)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	自分の“ロマン”と“ビジョン”を持つ人材の 得られるものとは		
9	凄い経営者から 若者へ送るメッ セージ (1)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	失敗しても最後までやってみよう		
10	凄い経営者から 若者へ送るメッ セージ (2)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	志高く		
					失敗の反対はチャレンジしないこと		
11	凄い経営者から 若者へ送るメッ セージ (3)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	こけたら立ちなはれ		
					汗をかくことから始まる		
12	凄い経営者から 若者へ送るメッ セージ (4)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	人生の方程式①		
13	凄い経営者から 若者へ送るメッ セージ (5)	求めれらえる人材 像を探る	1	ブレーン ストーミング	人生の方程式②		
14	振り返りと新た な歩み (1)	良い習慣を増やす	1	ブレーン ストーミング	「これまで私」と「これからの私」①		
15	振り返りと新た な歩み (2)	学びで習慣は変え られる	1	ブレーン ストーミング	「これまで私」と「これからの私」②		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等